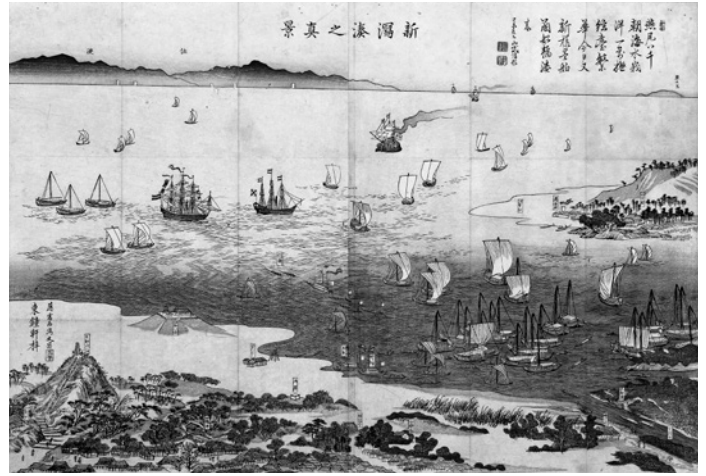


新潟開港150周年記念展

かいこうじょう
開港場新潟展

2019年1月1日に、新潟市は開港150周年を迎えました。開港以降の150年の歴史を振り返り、特にみなとまちとしての大きな画期となった開港の経緯や開港後のあゆみについて知ることは、現代の新潟市に暮らす私たちが未来を見ずえる大きな指針となります。

本展では、開港場となると共に明治という新しい時代を迎え、近代的な諸制度やくらしの変化を受容した新潟の歴史を紹介します。



新潟湊之真景

展示内容

1 開港記念の系譜

新潟開港を記念して開かれたこれまでの催しを開港記念のパンフレットや絵葉書から紹介

2 新潟開港への道のり

新潟上知から新潟開港が決定するまでのできごとをはじめ、江戸時代後期の新潟町の様子を初代新潟奉行川村修就の資料や絵画・絵図資料を通じて紹介

3 北越戊辰戦争下の新潟町

北越戊辰戦争の過程で、同盟軍の支配下となった新潟町の戦禍の様子などを新潟町会所文書などから紹介

4 新潟開港

開港当初、新潟港を出入りする商品や新潟町を訪れた外国人の動向を文書や写真で紹介

5 近代化の波

明治時代から推し進められる近代化政策のもとで展開する文化・経済・街並みの変化などを写真・新聞・文書・地図などを通じて紹介

6 近代化の進展

明治30年代における開港場新潟の殖産興業の進展の度合いを明治34年に開催された一府十一県連合共進会の資料を通じて紹介



新潟県主催一府十一県連合共進会会場之図



写真 共進会会場 新潟ハイカラ文庫所蔵



引札 回船問屋前田周吉 新潟ハイカラ文庫所蔵

【企画展関連イベント】

■ 展示解説会

日時: 7月13日・14日・28日、8月10日・11日・24日・25日
午後2時より1時間程度
申込み: 事前申込み不要・直接会場へ
会場: 新潟市歴史博物館 本館1階 企画展示室
参加費: 無料。ただし企画展の当日観覧券が必要

■ 講演会①

日時: 7月27日(土)
午後1時30分～午後3時(開場1時10分)
講師: 青柳 正俊 氏(国立歴史民俗博物館研究員)
テーマ: 「外国人居留地のない開港場・新潟を考える」
会場: 新潟市歴史博物館 本館2階 セミナー室
参加費: 100円
申込み: 必要、7/18(木)まで
定員: 70名

■ 講演会②

日時: 8月4日(日)
午後1時30分～午後3時(開場1時10分)
講師: 関根 達人 氏(弘前大学人文社会科学部教授)
テーマ: 「越後産焼酎徳利(松前徳利)の生産と流通
—箱館・新潟開港の射程のなかで—」
会場: 新潟市歴史博物館 本館2階 セミナー室
参加費: 100円
申込み: 必要、7/20(土)まで
定員: 70名

〈申込方法〉

往復葉書、FAX、電子メールのいずれかに、「開港場新潟展講演会(申込を希望する番号)」と表記して、氏名・住所・連絡先電話番号、FAXの場合は返信先FAX番号を明記して、下記問い合わせ先までお申し込みください。

【開催情報】

- 開催期間: 2019年7月13日(土)～8月25日(日)
- 休館日: 毎週月曜日(7/15・8/12は開館) 7/16(火)
- 開館時間: 午前9時30分から午後6時まで (観覧券の販売は午後5時半まで)
- 観覧料: 一般 500円 大学・高校生 300円 中・小学生 無料
※企画展観覧券で常設展示もご覧いただけます
※20人以上団体料金(2割引)
- 会場: 新潟市歴史博物館 企画展示室
- 主催: 新潟市歴史博物館
- 共催: 新潟日报社・N S T

交通案内

- ◆ 新潟駅万代口バスターミナルより
 - 萬代橋ライン - 青山方面行 乗車、6分「本町」下車乗り換え、徒歩5分、《東堀通線 - 入船営業所行》「東堀通七番町」から乗車、8分「歴史博物館前」下車すぐ
 - 《柳都大橋線 - 入船営業所行》乗車、12分「湊町通二ノ町」下車 徒歩8分
- ◆ 観光循環バス
新潟駅万代口バスターミナルより乗車、「歴史博物館前」下車すぐ
 - 車 新潟ハイバス紫竹山ICより約15分(駐車場:73台収容可能)
 - 信濃川ウォーターシャトルが敷地脇より発着



新潟市歴史博物館

〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10
Tel:025-225-6111 Fax:025-225-6130

URL: <http://www.nchm.jp> E-Mail: museum@nchm.jp

